

ココが違うぞ!

強豪校のステージ作品

プロダンサーがYouTube動画で誌上ジャッジ
コンテストのジャッジはどこを見ている?
強豪校の振り付けにはどんなポイントがあるのか?
そこを知ることが勝利への近道だ!

ジャッジ



動画名

【スマールクラス優勝】 大阪府立箕面高等学校 / 第7回日本高校ダンス部選手権 「Fit's DANCE STADIUM」

静と動の王道比率

前半は、身体を細かくコントロールしていくポップダンスを重みを持って見せて、後半にはファンキーに動くロックダンスを軽やかかつダイナミックに展開することで非常に見やすい作品となっています。女性の多いダンス部大会の中で「男性だけのチーム」という環境をうまく活かし、ポップやロックに必要な筋力を武器にしている。



繊細さとライブ感のバランスが良い!

9人は思わず驚くほどの迫力と構成力がありました。アニメーションダンスからポップダンス、ロックダンスにスムーズに展開していく、世界観がコアになりすぎず、繊細さとライブ感、チーム感が融合したエンターテインメント性の高い作品だと思います。

12 | ダンスク!

動画名 竹早高校ダンス部 優勝 工学院ダンスコンテスト2014

アイソレーションの美学とコントラスト

前半から中盤にかけてチーム全体で見せるアイソレーションの作りが素晴らしい。幾何学的に、アイソレーションのシーンを直線的に見せた後、リズム・ノリを需要するハウスダンスや、ファンキーを見せるロックダンスを踊ることでそれぞれの魅力が上手く引き立っている。



いろんなジャンルを踊りこなす引き出しの多さ!

無機質な始まりからダイナミックな構成に展開していく見ごたえのある作品で、いろんなジャンルにトライしている引き出しの多さも感じました。構成力もあり、見せ場をいくつも感じさせる作品でした。



スタートにインパクトが!

始まりのシンプルな音取りにグループ感があって気持ちよく、動きもそろっていてインパクトがありました。全員のスキルもバラツキなく一体感があります。踊るところ、ストップするところをうまく取り入れているので、細かい音どりがあってもごちゃごちゃせず、構成も見やすくてすっきり完結している印象です。

動画名 大宮北高校ダンス部 優勝 NO DOUBT 5th 工学院 優勝

チームの構成力と見せ方が魅力的!

滑らかな音取りと、アクセントに合ったストッピングを混ぜ合わせることで、メリハリのある作品に。男女の役割分担が秀逸で、統一された衣装は男女で着こなしが違う。さらに女性は長髪にカチューシャ、男性は短髪とアクセントを付けて男女の対比を適度に表現。この前提を活かし、男性陣と女性陣の動きを若干変えて振り付け。これが、膨らみのある演出効果を生み出している。



いろんなジャンルを踊りこなす引き出しの多さ!

無機質な始まりからダイナミックな構成に展開していく見ごたえのある作品で、いろんなジャンルにトライしている引き出しの多さも感じました。構成力もあり、見せ場をいくつも感じさせる作品でした。



スタートにインパクトが!

始まりのシンプルな音取りにグループ感があって気持ちよく、動きもそろっていてインパクトがありました。全員のスキルもバラツキなく一体感があります。踊るところ、ストップするところをうまく取り入れているので、細かい音どりがあってもごちゃごちゃせず、構成も見やすくてすっきり完結している印象です。

動画名 【ビッグクラス優勝】 大阪府立今宮高等学校 / 第7回日本高校ダンス部選手権 「Fit's DANCE STADIUM」

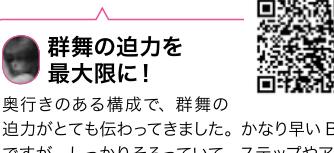
世界観をわかりやすく伝えた!

20名以上のダンサーが踊る大所帯のチーム。和服姿のダンサーたちが集結し、お辞儀の後、脇やかに和楽器の演奏を行なうシーンから始まる。この時点でのチームがどのような世界観を持って作品を展開していくかが十分に伝わる。そして「和服」で「ストリート」と言う一見アンバランスな世界観がこれからの展開へ向けて観客の興味を引きつけることに成功している。



群舞の迫力を最大限に!

奥行きのある構成で、群舞の迫力がとても伝わってきました。かなり早いBPMですが、しっかりそろっていて、ステップやアームスの細かい動きもしっかりと見えました。衣装や小道具の転換の仕方がスムーズでダンス以外のエンターテインメント性も高いです。



徹底的に勢いで押す!

コンテストにこのテーマで挑むのはなかなか勇気のいることだと思います。しかし、音のミックスをセンス良く加え、ダンスの見せ場を作ってスキルと一体感も表現しつつ「秀樹」を徹底的に押す。観ている人を巻き込む勢いがある作品だと思います。

動画名 山村学園高等学校 テーマ「秀樹」

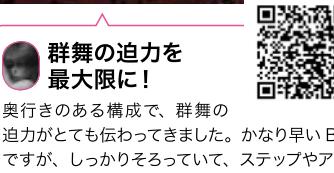
視覚と脳で注目を集める構成!

シンガー役とダンサー役がそれぞれ別々の動きをしてエンターテインメントを作り出している。シンガー役がいるおかげで作品の「軸」が見えやすい。また、2つの役割がフォーメーションにも奥行きを違和感なく作り出している。冒頭のなぞかけの表現が意味することに気づいたときに同時に頭に入ることで新鮮な興奮を感じさせる。



徹底的に勢いで押す!

9人は思わず驚くほどの迫力と構成力がありました。アニメーションダンスからポップダンス、ロックダンスにスムーズに展開していく、世界観がコアになりすぎず、繊細さとライブ感、チーム感が融合したエンターテインメント性の高い作品だと思います。



徹底的に勢いで押す!

9人は思わず驚くほどの迫力と構成力がありました。アニメーションダンスからポップダンス、ロックダンスにスムーズに展開していく、世界観がコアになりすぎず、繊細さとライブ感、チーム感が融合したエンターテインメント性の高い作品だと思います。

13 | ダンスク!